

令和4年度豊中市PTA連合協議会・第3回役員会

連Pスローガン「繋がろう 笑顔溢れる子どもたちのために」

9月6日（火）19時～教育センター

次第

（進行：岩田会長代行）

1. 会長あいさつ

仙崎会長

※見守りサービスOTTADE（情報提供）

創造改革課

2. 各ブロックより報告

小学校北部ブロック

長島ブロック長

小学校東部ブロック

新井ブロック長

小学校中部ブロック

仙崎ブロック長

小学校南部ブロック

中尾ブロック長

中学校北部ブロック

中村ブロック長

中学校南部ブロック

三間ブロック長

副会長会

保坂委員長

3. 教育委員会より報告、質疑応答

4. 議題案件

- ・南部小中学校再編に伴う連Pブロック再編案
- ・市長タウンミーティング（10～11月予定）の開催候補日時（45分程度）
11/1（火）16時半～、11/7（月）11時～、11/10（木）10時～12時
- ・2/4（土）PTA大会（地域共生センター大会議室、文化芸術センター小ホール）

5. その他

- ・役員から質疑応答
- ・事務局から連絡
- ・次回開催日程の確認

月 日（ ）19時～教育センター

6. 閉会あいさつ

会長代行

豊中市 PTA 連合協議会・第3回役員会 議事概要

開催日時：9月6日（火）19時～20時半

開催場所：教育センター教科教育室、オンラインとのハイブリッド形式

出席者：〈豊中市PTA連合協議会〉（以下、「連P」という）

仙崎会長（豊島）、三間会長代行（庄内さくら学園中）、
岩田会長代行（14中）、中村書記（9中）、中尾広報委員長（島田）、
保坂副会長会委員長（17中）、林生活安全委員長（4中）、
伊関顧問（桜塚）

「ズーム参加」

若松副会長会副委員長（1中）、新井生活安全副委員長（南丘）、
瀬尾副会長（東丘）、長島副会長（少路）、後藤顧問（13中）

〈豊中市教育委員会〉

小野事務局長、藤原理事、大澤社会教育課長、島津副主幹、
佐々本主査、田井主査

○次第

1. 会長あいさつ

仙崎会長から、今回から岩田会長代行に司会していただき、後半ではブロック再編の議論を中心に、有意義な会議にしたい旨、挨拶があった。

※見守りサービスOTTADE（情報提供）

見守りサービスOTTADEのご案内（都市経営部・創造改革課）について、創造改革課の職員及び関西電力送配電株式会社（以下「関電」という。）の中山様から、見守りポイントを通過したタイミングで位置情報が記録される仕組み（基地局以外にも対応のスマホ・タクシー会社との連携）や利用方法やサービスやクーポン等について説明があった。

併せて、質問や要望があれば関電（OTTADE！事務局）に問合せいただきたい旨、説明があった。

2. 各ブロックより報告

長島副会長（小学校北部）から、11月20日（日）午前に仲島正教さんの講演会と分科会の内容で開催予定のブロック研究大会について話し合った旨、報告があった。

新井生活安全副委員長（小学校東部）から、「子どもを交えたクイズ大会の内容でブロック研究大会を計画している」、「各校の集団登校の詳細」について話し合った旨、報告があった。

仙崎会長（小学校中部）から、「キャンドルナイトをはじめとしたイベントが多く単Pで実施（計画）されている」、「2学期からの単P役員の選出方法」について話し合った旨、報告があった。

中尾広報委員長（小学校南部）から、「ブロック編成」、「コドモンの利用状況」、「南部フェスティバルでのモルック大会の計画」について話し合った旨、報告があった。

中村書記（中学校北部）から、「ブロック編成」、「熱中症対策の自販機の導入」、「中学校で始まった給食の味の質の向上に関する要望（委託業者の選定方法）」について話し合った旨、報告があった。（「3.教育委員会より報告」で回答）

三間会長代行（中学校南部）から、「ブロック編成」、「副会長も入ってブロック会長会を行っているので、ブロック内の情報共有は円滑である。」旨、報告があった。

3. 教育委員会より報告、質疑応答

藤原理事から、学校教育にご理解ご協力いただいていることへの御礼があり、以下の事項について報告があった。

- ①コロナ状況について、感染者は減少傾向であるが未だ予断を許さない状態であるが、場面に応じた感染症対策をしながら、通常形態の学校教育活動を継続することとしている。
- ②2学期には学校行事が多くある。今後の感染状況により、各学校において開催方法の変更等も考えられるが、その際は、ご理解ご協力をお願いしたい。

併せて、庄内地域に開校する施設一体型の義務教育学校2校「令和5年（2023年）4月に庄内さくら学園」「令和8年（2026年）4月に（仮称）南校」の経過と『めざす子ども像』の実現に向けた仕組み、義務教育9年間を通じた一貫性のある教育（4—3—2のステージ制により、9年間の接続を緩やかにする等々）などについて説明があった。

小野局長から、以下の事項について報告があった。

- ①コロナ状況について、感染者数の推移から第7波のピークは7月であったと推測できるが、現在も学級休業されている学校が数校ある中、まだまだ注視していく必要がある。
- ②2学期から始まった中学校全員給食の委託業者について、昨年度に事業者を公募し応募された4社のうち3社を選定した。その際には中学校の生徒をはじめ、学校関係者にも試食いただき選定に至った。「2.各ブロックより報告」で味の質の向上に関する要望をいただいたが、衛生管理上、調理後一定温度に下げる必要があり、生徒の嗜好に合わないことも考えられるが、今後アンケートや試食会の実施等から意見募集を行い、改善を図りたい。また、給食試食会を希望する単Pは学校給食課に問合せいただきたい。
- ③市議会の定例会に補正予算案件として、「中学校の採点システムの増設」、「岡町・野畑図書館の空調設備工事」、動産の買い入れとして、「大型モニターの更新」、「通信障害対策用の無線LANのアクセスポイントの導入」を上程している。

4. 議題案件

・南部小中学校再編に伴う連Pブロック再編案

仙崎会長から、令和3年度に決定したブロック再編案（小学校は沿線別の3ブロック、中学校は1ブロック）と令和4年度に検討中のブロック再編案（小中学校合同ブロック再編案）のいずれかについて、以下の通りの予定でブロック再編案を決定したい旨、提案があり、承認された。

- ①R03案とR04案の長所短所をブロック内の意見集約から、資料を作成いただいた。
- ②その資料に基づいて、9月中にブロック内で議論していただきたい。
- ③その資料を参考に、10月上旬に臨時書面総会としてGoogleフォームを使って単P会長58人による投票を実施したい。
- ④決定した再編案に応じた引継ぎ方法の大枠案を連Pで計画したい。

岩田会長代行から、下記の通り、R03案R04案の長所短所の資料を作成したので、参考にしてブロックで改めて議論いただきたい旨、発言があった。

○ブロック編成案【メリット・デメリット】

①小中同一ブロックについて

●旧案「沿線案」

(メリット)

- ・小、中学校ごとにブロックがわかれているので、お互いの課題や議論、理解がしやすい。

(デメリット)

- ・小中一貫校が今後2校あり、1校1会長になるため小中ごとのブロックに参加する必要があり大きな負担である。
- ・現状のブロック数が現状6→4ブロックになるため連P役員選出を新たに考えなければならない。

●新案「校区案」

(メリット)

- ・小中同じ地域の集まりのため、地域の話がしやすく会長だけではなく運営側の交流の幅が広がる。
- ・安全情報、イベントなどで連携が出来る。
- ・小学校としては中学校が知れ、中学校としては今後入学してくる学校の情報が知れる。
- ・現状と同じ6ブロックのまま連P役員の数もこれまで通り。
- ・旧案と比較し、交通費の削減につながる。

(デメリット)

- ・小学校と中学校では話の内容が違う（特に小1と中3では環境が大きく違う）ため、議論する内容も異なり今まで以上に会長会が長引く恐れがある。
- ・中学校は1ブロック内の校数が少ないため、中学で共有できる情報が少なくなる。

②移動距離について

●旧案「沿線案」

(メリット)

- ・公共交通機関を利用した移動が出来る。ブロック会議終了後の交流会にも対応しやすい。

(デメリット)

- ・会長会は概ね学校で開催されると思うが、公共交通機関でも駅から遠い学校もあるため、沿線案であっても移動しにくい。
- ・中学校ブロックが1つになれば会長会が遠くなり、負担が増える。北から南までは車でも時間がかかる。
- ・小学校ブロックも沿線で分けているが初めから電車移動有りでの考え方だがその分、予算もかかる。
- ・自動車を持っていない家庭もある。

●新案「校区案」

(メリット)

- ・ブロック会議が自転車でも行ける距離で参加がしやすい。

(デメリット) なし

長島副会長から、小学校北部ブロックから「R04案は合計6ブロックでR03案は合計4ブロックになる。それぞれの場合に対応する連P役員数はいくつになるか。」という意見が挙がっている旨、発言があった。

仙崎会長から、連P役員数は現在、6ブロック×2名（単P会長）+中学校2ブロック×1名（単P副会長）=14名である。R03案ではブロック数が減るが、連P役員数を減らすかどうかは、ブロック案が決定してから考える別の議論として捉えたい旨、発言があった。

三間会長代行から、決定してからの議論ではあるが、連P内の役職や連P委員会の仕事量をはじめ、対外役員としての仕事量も変わらないのでブロック数の減少に応じて連P役員数を減らした場合、連P役員の担当する仕事が増えることになる旨、発言があった。

瀬尾副会長から、小学校東部の意見を事務局に提出したので資料に反映いただきたい旨、発言があった。

岩田会長代行から、資料の内容と違う意見があれば、追記を考えたい。また、今後は役員グループlineを情報共有の場としていきたい旨、発言があった。

- ・市長タウンミーティング（10～11月予定）の開催希望日時（45分程度）

事務局から、秘書課より提供された開催候補日時の中で11月10日（木）11時～小中学校やPTAについて意見交換ができる「市長タウンミーティング」を実施する旨、説明があった。

（参加者は仙崎会長、三間会長代行、岩田会長代行、中村書記、山本広報副委員長、伊関顧問）

- ・2/4（土）PTA大会（地域共生センター大会議室、文化芸術センター小ホール）

仙崎会長から、PTA大会を2/4（土）13時～15時に開催したい旨、提案があり承認された。

事務局から、開催方法（WEB等）や開催場所（地域共生センターか文化芸術センター小ホール）について説明があった。

4. その他

- ・役員から質疑応答

仙崎会長から、今後の役員会の冒頭15分程度でお役立ち情報として講師を招待して講演いただくことを計画している。また、単Pからの希望者にはオブザーバーとしてズーム参加いただけるようなことも計画している旨、発言があった。

- ・次回開催日程

事務局から、次回役員会の開催について提案があり、10月11日（火）19時～教育センター研修室で「第4回役員会」を開催することとなった。

5. 閉会あいさつ

三間会長代行から、今年度はリアルとzoomのハイブリッド形式で行っているのので、それを利用した形で単Pがオブザーバー参加できる役員会になることを希望している旨、挨拶があった。